

変わりつつあるわたしたちの

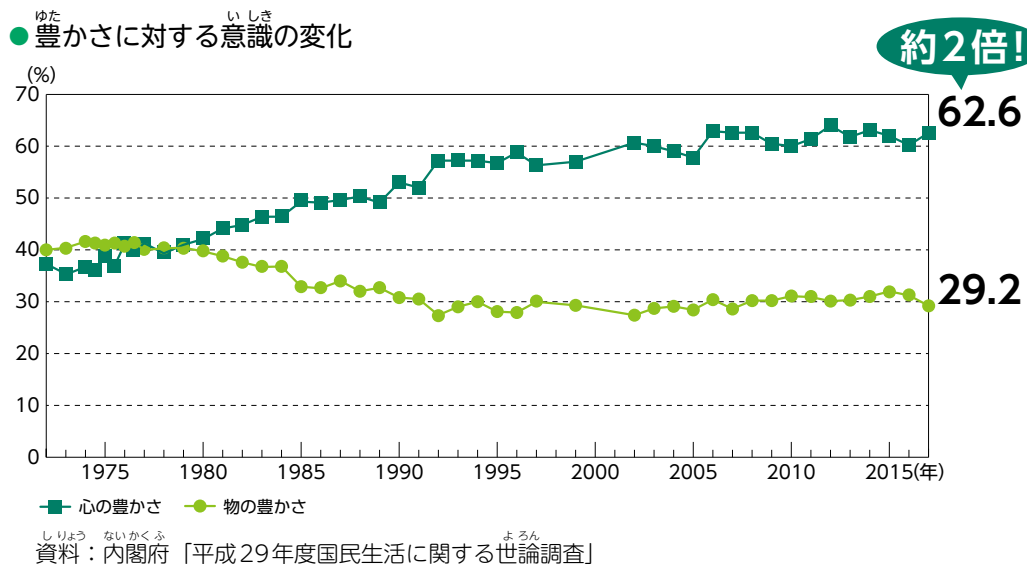
わたしたちのモノやサービスの購入、エネルギーや資源の使用は、地球環境に大きな影響をおよぼしています。そのため、持続可能な社会づくりをしていくためには、わたしたち一人ひとりの暮らし方を変えていく必要があります。

日本人の意識の変化や、環境を考えた持続可能な行動を考えてみましょう。

豊かさに対する意識の変化

日本では1960年代以降、経済が急速に発展し、多くの人々が便利で快適な生活を送れるようになりました。その一方で、「豊かさ」に対する意識は大きく変化してきました。

かつては「心の豊かさ」より「モノの豊かさ」を重視する人の方が多かったですが、近年は「心の豊かさ」を重視する人の割合が「モノの豊かさ」を重視する人の約2倍となっています。



コラム 世界で最も貧しい大統領

ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領は、その質素な暮らしぶりから、「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれていました。2012年、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」において、わたしたちのライフスタイルを見直すべきとしたスピーチを行い、世界から大きな注目を集めました。

- リオ+20におけるホセ・ムヒカ大統領のスピーチ



資料：UN Photo